

各地の自然災害で被災された方々、戦禍の中にある方々に、心からお見舞い申し上げます。
神様の慰めと助けがありますように、お祈りしております。

宝塚栄光教会のクリスマス

毎年めぐってくるクリスマス。今年は教会で心あたたまる時をすごしませんか。

12/20(土) 入場無料

チェロコンサート

15:00～16:30

チェロの豊かな音色が心に響きます。深い感動に包まれるコンサートです。

12/21(日)

クリスマス礼拝

10:30～11:45

クリスマスの朝。静かに礼拝をささげます。希望のメッセージがあなたの心に届くでしょう。

キャンドルライトサービス

13:30～14:30

キャンドルの光の中でささげる礼拝です。闇の中に輝く光として、お生まれくださったキリストを喜ぶ礼拝です。

どの集会も、同時公開ライブ配信を行います。
教会にお越しになれない方も、教会のホームページからご覧いただけます。

教会からのオススメの一冊

「名作 クリスマス童話集
かけがえのない贈りもの～Gift～」
「名作 クリスマス童話集」

小松原 宏子・文 矢島 あづさ・絵
(いのちのことば社フォレストブック)

皆様はクリスマスの童話と聴いて、どんなストーリーを連想されるでしょうか。今回は、クリスマスの童話集をご紹介します。チャールズ・ディケンズの「クリスマスキャロル」、オスカー・ワイルドの「幸せの王子」、O・ヘンリーの「賢者の贈りもの」など、10のストーリーが2冊に分けて収められています。どのストーリーもちょうど読みやすい長さですので、気軽に読むことができます。難しい漢字にはルビが振ってありますので、小学校高学年や中高生のお子様にも読みやすいでしょう。さらに、装丁も綺麗なので、クリスマスのプレゼントにいかがでしょうか。

本書の中には、トルストイの「靴屋のマルチン」が

納められています。愛する家族を失って心がずさんでしまった靴屋のマルチンに、イエス様が「明日、会いに行く」と声をかけられます。翌日、彼はイエス様が会いに来てくださるのを待っていましたが、その間に困っている人たちに会い、親切にしてあげます。でも、とうとうイエス様は来られませんでした。その夜、がっかりするマルチンの前に、昼間、彼が親切にしてあげた人たちの姿が次々に現れます。そして、イエス様の声が聞こえてきます、「今日はわたしに親切にしてくれてありがとう」。聖書にこう書かれています、「あなたがたが、これらのわたしの兄弟たち、それも最も小さい者たちの一人にしたことは、わたしにしたのです」。

どれも、クリスマスにふさわしい、心に残るストーリーです。ぜひ、今年は味わい深いクリスマスを過ごしてみませんか。



Gloryカレンダー発売

Gloryのエッセーと写真とともに、2026年を迎えませんか。神様に祝福された素敵な一年になりますようにとの願いを込めて。一部700円です。購入をご希望の方はご連絡ください。



元旦礼拝

2026年1月1日(木) 11:00～12:00

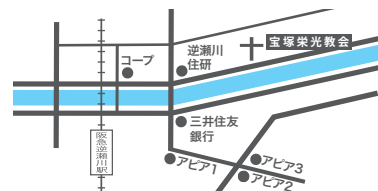
新年を神様の前から始めることは、大きな祝福になります。ご家族おそろいで、ぜひご出席ください。

宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com https://www.takara-eikou.com



教会HP

礼拝動画

希望のダイヤル

礼拝 毎週日曜日
10:30～11:40

希望のダイヤル(聖書のお話)

0797-77-3746

毎週更新。24時間つながります。
ホームページからも利用できます。

わたしたちは世界平和統一家庭連合(旧・統一協会)、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。



現された神の愛

クリスマスおめでとうございます。救い主イエス・キリストのご降誕を心から感謝します。

キリストは、今からおよそ2000年前にユダヤのベツレヘムにお生まれになりました。私たちに真の愛を示すために、神がお遣わしになったのです。

私たちも「愛」を持っています。親子の愛、夫婦の愛、友愛…というように。しかし、私たちが本来持っている愛は、限界があります。普段は美しく見える愛も、何かがあると弱くなったり、消えてしまったり、時には憎しみに変わったりもします。それは、私たちの愛が自分に向かってくる求心的な愛だからです。

しかし、神がキリストを通して現された愛は、ご自分を私たちに与え尽くす愛です。聖書はこう言います。「神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちにいのちを得させてくださいました。それによって神の愛が私たちに示されたのです。」(ヨハネの手紙第一4章9節)

天地万物を創造されたまことの神は、愛に富んでおられる方です。私たちは、その神を

知らず、知ろうともせず、欲に任せた自分勝手な道を歩んでいた罪びとです。そのままでは確実に滅びゆく者であり、魂が死んでいる者です。しかし愛なる神は、そんな私たちのためにキリストを遣わされました。

キリストは罪のない神のひとり子でしたのに、むごい十字架にかかって死なれました。本当は罪びとの私たちが受けるべき罰を、キリストが身代わりに受けてくださったのです。この事実を知って、自分の罪を悔い改め、キリストの十字架が自分のためだったと信じるなら、私たちの全ての罪は赦されます。そして、死んでいた私たちは、真のいのちによって生きる者になるのです。

ここに本当の愛が現されたのです。相手から奪うのではなく、相手に与え尽くす愛です。私たちがこの愛に生かされるなら、私たちもまた人に愛を与えていく者になります。

クリスマスは、キリストと出会って、この真の愛を受け取る時です。キリストは、心低くして、砕かれた魂で来る者を、いつでも迎えてくださいます。



「ピラカンサ」 ― ヒヨドリたちの好物 ―

冬 花の少ないころ 美しい赤い色の
実をつけている植物は 他にもいくつかあるが
ピラカンサの紅色は 一段と鮮やかに 目に入ってくる
この赤い実を 冬の入り口だと言う人がいたが…

原産地は ヨーロッパ南部 アジア西部で
日本には 明治時代に入ってきた
ピラカンサという名は ギリシャ語のピル (炎) とアカンサ (刺) から
つけられている
トゲのある枝に 炎のような 赤い実をつける姿である
赤い実が目立つので あまり注目されないが
春には 雪をかぶったように 白い小さな花を たくさん咲かせている
そして 枝に鋭いトゲがある

クリスマスをイメージさせるような 濃いグリーン of 葉に
真っ赤な実をつけた ピラカンサ
赤い実を収穫して洗淨し ドライにしたものを
クリスマスリースに 仕立てる人も多い

「ダビデの子に ホサナ
主の名によって来られる方に 祝福があるように
いと高きところに ホサナ」

マタイ21章 (聖書)